

【学校評議員からの意見】

学校評価について保護者アンケートや評価結果を提示し、学校関係者評価委員会において、学校評議員からご意見をいただきました。

主なご意見について内容と今後の方向性をお知らせします。

①保護者アンケートの回答率はどのくらいか。回答率をどのようにとらえているか。

→回答率は54%であった。少ないと感じている。

回答率に目標値の設定が必要ではないか。学校からの連絡はほぼメールで来る。調査なども入力して回答する方式だが、見過ごしてしまっていることも考えられる。メールの優先順位が必要ではないか。

→メールの見出しに【重要】などをつけて、重要性や回答が必要なことが分かるようにして送信するなど、検討をしていく。

②式典や授業参観などを通し、子ども同士が助け合う姿をたくさん見た。友達と関わりながら対話的に課題を解決していけるとよいと思う。

③先生方に求められる力は高まっていると考える。どのように高めているのか。

→校内研修を実施している。また、外部の研修会に参加した内容を学部会で報告したり、資料を回覧して共有したりしている。

④いじめに関する保護者アンケートの評価が低いということであるが、「分からない」が多いというのは評価できないという人が多いとも考えられるのではないか。いじめについて関心があり、注意して見ようと思ったが見えなかったという可能性もある。安全・安心に楽しくが保護者の願いである。

→学校の実践について、周知の仕方、発信の仕方などを今後検討していきたいと思えます。

⑤進路研修会に参加した。保護者の進路への関心は高いと感じた。事業所の見学会にも保護者に参加してもらったことで、声を直接聞くことができた。今後も協力したいと思う。企業への理解啓発、普及活動も続けてほしい。